

一般質問：まちだテクノパークの企業と町田市の連携はあるのか

2023.09.01

町田市議会議員 無所属会派 吉田つとむ

町田市内には、企業の集積地として、まちだテクノパークがあり、水耕栽培メロンのシステムを開発販売する企業（「大浩研熱（だいこうけんねつ）株式会社」）も入居している。

今後も期待を持ってそのテクノパークを見つめたいと思う。

以下の点を尋ねる。



まちだテクノパークの HP 写真を使用させていただきました。

- (1) まちだテクノパークの設立に果たした役割
 - (2) まちだテクノパークの今後の発展の展望
 - *つまり、規模の拡大は見込めるか
 - (3) まちだテクノパークの企業と町田市の連携
 - *こうした新興企業に対し、町田市の協力はどのようなことがあるか
- 以下、答弁と再質問の趣旨を記載しました。



まちだシルクメロンの栽培農地視察見学の写真

<答弁>

まちだテクノパークは、多摩高度化事業組合が設立され、町田市の小山地区（現在の小山ヶ丘）の土地に建設され、第1期工事が2001年に終了しています。

現在のまちだテクノパークの周辺地域は、旧来の用途地域が改定され、幅広く住宅地開発に転換され、住宅が建設されて、事業所や工場に当てられる用地は無くなっており、まちだテクノパークを拡大することは困難である。

また、町田市では、まちだテクノパークの組合企業のような、新興企業の事業拡大の機会として、東京ビックサイトなどで開催される展示会などに支援を行っている。

<再質問>

まちだテクノパークの拡大のための用地が現地では確保できないということは残念である。

まちだテクノパークに入居した事業者は、その後順調に事業が取り組まれているのか。

全国の自治体では、様々の展示会で市内事業者の支援、広報活動を支援しているケースが目立っている。ブース確保に努め、事業者が営業機会を増やす機会をバックアップするべきある。

<再答弁>

まちだテクノパークに入居した事業者は一部減少したが、残った業者で空きスペースが埋められており、空きは無い。

消えない町田くん、メロン水耕栽培システムに続く、独自技術を全国に紹介することをバックアップしたい。

<再質問・まとめ>

まちだテクノパークの施設に空きがでていないことで一安心しました。

今後は、町田市の新興企業、独自の技術を持つ事業者の営業機会を積極的に提供してもらいたい。

*追記：なお、私はこれまで、このまちだテクノパークの入居企業の訪問の経験がない。町田シルクメロンの農場はなんとか視察見学をさせていただいたが、なぜか、まちだテクノパークの組合を含めて、1企業もないのは自分でも不思議である。時期を見て、訪ねよう。そしてその広報をやらせていただきたいと思っています。